

【回答用紙】2012年守谷市議会議員立候補予定者へのエネルギー政策に関するアンケート

フリガナ あお き きみ さと		
お名前 青木公達	年齢 59	現職・ 新人 (どちらかに○)
所属会派 (現職のみ)	所属政党 無所属	
ホームページ (お持ちであれば) :		

1 エネルギーに関する基本的な考え方 (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 今後も既存の化石燃料・原子力を基軸とし、省エネと技術革新に期待する
- 基軸は既存のエネルギー源とすべきだが、原子力だけは減らしていくべき
- 自然エネルギーへの転換を早急かつ段階的に図るべきである
- 自然エネルギー推進には反対しないが課題が多く将来的な技術であり過剰な期待は禁物である
- 重要な課題だがまずは国が主導すべき課題につき自らの考えを明示する必要はない
- 該当なし

2 エネルギーに関する基本的な考え方 (自由記述。300字程度)

今回の福島第1原子力発電所事故で(事故後の対応も含めて)人間のコントロールが及ばない事象が起きたことは明白であるから、原子力以外の、特に自然エネルギーへの転換を考えるのは自然の方向性である。

3 日本の核燃料サイクルについて (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 核燃料サイクル計画は既に破綻しており、撤退すべき
- 万難を排し、技術開発により核燃料サイクルを実施していくべき
- 将来的な原子力技術の展望に期待し、現状の核燃料サイクル自体に打開策がなくても継続すべき
- 該当なし

4 ピークオイル問題について (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- よく知っているし、対策も考えてきた
- 聞いたことはあるが具体的な対処はしていない
- 初めて目にした
- 内容は理解しているが対処する必要なし
- 該当なし

5 東海第2原子力発電所の再稼働について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 絶対反対であり市議会で稼働反対の意見書を採択すべき
- 安全対策を徹底した上で判断すべき
- 安全対策を前提に、急ぐ必要はないが再稼働すべき
- 該当なし（個人的には再稼働反対。ただ市議会での採択が必要かどうかはまだ考えが纏っていない。）

6 今後、守谷市にて推進すべきエネルギー関連施策としてどのようなものをお考えでしょうか。（自由記述。300字程度）

施策：

自然エネルギーへの転換を進める「試み」が必要と思う。行政と市民と事業者でプロジェクト・チームを立ち上げ可能性を議論すべきである。「試み」としては公共施設、例えば小学校の電力を全て自然エネルギーでまかなう。非常時の避難所としての機能としても有効と考える。

7 エネルギー政策で参考にすべき国内外の自治体があれば挙げてください。（3箇所まで）

自治体ではなく、先駆となったホテルの事業を紹介します。この事業の推進者である「和田孝一」氏とお会いする機会があったが、興味深い話を聞くことができました。

① 企業名：ホテル ニューオータニ 循環型リサイクルシステム

理由：ホテル ニューオータニ（東京）では、ホテルを都市の小モデルと捉えて

- （1）食品循環資源（生ゴミ）リサイクルシステム
- （2）先導的エネルギーシステム
- （3）中水リサイクルシステム

を導入し環境対策を実施している。これらの施策は現在ホテルでのモデルケースになっており、街の環境対策のヒントにもなると思われる。

8 原発の海外への輸出について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 賛成
- 反対
- どちらとも言えない

以上、ご協力ありがとうございました。